

1. 評価結果概要表

作成日 平成 22 年 2 月 11 日

【評価実施概要】

事業所番号	570807859
法人名	有限会社 ふあいん
事業所名	グループホームひかり
所在地	秋田県大仙市藤木字東八圭21-1 (電話) 0187-86-5056
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成22年2月4日

【情報提供票より】 (平成22年1月12日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 <u>平成</u> 15 年 1 月 1 日
ユニット数	2 ユニット
職員数	15人
利用定員数計	18 人
常勤	14人
非常勤	1人
常勤換算	14.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	有 (円)	<u>無</u>		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要 (1 月 12 日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名	
要介護 1	8	要介護 2	2			
要介護 3	4	要介護 4	4			
要介護 5		要支援 2				
年齢	平均	82 歳	最低	66 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	伊藤内科医院・仙北組合病院・角間川歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然豊かな環境の土地に2ユニットが併設され、広い敷地を畑や花壇として利用者の自立支援に活用されています。毎日の来訪者と自然に関わることを心がけ「町内の一員として普通に生活している」ということを意識し、利用者が一日いち日を大事におだやかに過ごせるよう寄り添うケアをされています。退所された家族との付き合いも大切にし、また医療連携がとられていて健康管理や家族支援にも配慮が行き届いたホームです。業務は専門性を持って行われ、運営者は職員の研修や勉強会への参加を事業所の方針として積極的に推し進め、職員の努力も感じることができます。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	前回改善点はありませんが、評価結果を日々のサービスに活用し、利用者が安心して過ごせるよう業務に取り組んでいます。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	全職員が自己評価に関わり、評価結果を活かした取り組みができるよう討議して作成され、職員の意識向上に役立っています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2ヶ月に1回開催されています。利用者の現況報告、外部評価結果の報告や話し合いが行われ、そこでの意見を受け止めてサービスの質の向上が図れるよう取り組み、運営に反映されるシステムが確立されています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	電話や面会時に意見、要望を聞くようにしている他、年1回アンケート調査で言い出し難いことも引き出せるよう対応されています。また契約時にホームで支援できることも十分に説明し安心感が得られる配慮がされています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	町内会の一員として活動に参加し、広い敷地の一部を畑として貸し出し、冬季には除雪作業の協力を得ている他、避難訓練では消防団や近隣の理解と協力があり、地域住民との良好な関係が築かれています。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「一人ひとりの気持ちを大切に安心できる生活を共にします」を理念に掲げ、寄り添うケアを目標に、家庭的で地域住民との交流を大切にした事業所独自の理念を作り上げています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	その人らしく生活できるよう、職員全員が常に理念を意識して日々のケアに活かした取り組みが実践されています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に参加し、地域の一員として清掃や会費の集金、会合に出席している他、広い敷地の一部を近隣住民に畑として貸しており、冬季には除雪作業も手助けしてもらおう等交流が盛んに行われています。時には近隣の人が介護相談に訪れることもあります。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が自己評価に取り組み、評価結果を目標に日々のサービスの質の向上に向けた取り組みとして活用されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は2ヶ月に1回開催されています。本人、家族、職員の他地域包括支援センター職員、民生委員、老人クラブ会長、町内会長も出席して、ホームの現況や外部評価結果の報告が行われ、多くの意見をサービスの質の向上に反映させる機会ととらえて取り組まれています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議への参加の他、書類提出の際には情報を入手する等関係作りに努め、連携を図っています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	隔月に「ふあいんだより」を発行し、毎月金銭管理報告の折りに生活状況をお知らせしている他、健康状態についてもその都度連絡しています。面会時にも随時報告が行われています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	遠方に住んでいる家族には手紙や電話によって、また年1回家族に対してアンケート調査を実施して意見や要望を表わしてもらう機会を作ってサービスに反映させる取り組みをされています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	1号館、2号館は相互の往来があり、ユニット間の異動は入居者への影響なく行われています。同法人間の異動はありますが、入居者へ配慮して最小限としています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者が職員育成の必要性を認識しており、職員も、介護力だけではなく地域密着型のサービスの理解も含めた研修の必要性を認識しています。外部研修にも積極的に参加できるよう、更に上位資格取得できるよう事業所方針として取り組みをされています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム連絡協議会に加入しており、日ごろから他事業所のケアマネとも連絡し合える環境作りをされています。また外部講師を招き、近隣のグループホームと合同研修を開催して、職員育成のための実践的な交流の機会を作り、サービス向上に役立つ取り組みをされています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	事前訪問で話し合いを行い、見学にも来ていただいて、徐々に馴染めるような配慮がされています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の生活の中で、利用者に寄り添い、その思いを受け止めて、共に支えあう関係が構築されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	バックアセスメントやホームでの日常生活を通して一人ひとりの意向を把握し、尊重したケアが行われています。困難な場合には職員が話し合い、利用者にあったケアが行われています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の情報を基に週間サービス計画が作成され、本人、家族とも意見交換してその要望が反映されたケアプランが作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	随時カンファレンス、ミーティングにより実情に即した見直しが行われています。医療連携による訪問看護師の助言を受け、予防的な対応をしていくための見直しも行われています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出や通院支援、また重度化した場合の病院対応等、本人や家族の状況に応じて、全て柔軟に対応されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携により24時間体制で連携が図られています。適切な医療が受けられるよう支援されており、その都度相談できる関係が構築されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームのターミナル指針を文書により契約時に家族に説明して意向を確認し、主治医、訪問看護師の助言のもと、申し送りやケアカンファレンスで職員が情報を共有して対応の統一が図られています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人ファイルは書庫に保管されており、声かけやさりげない接し方にもその配慮が見られます。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの希望や考えを尊重し、体調確認しながら散歩や外出等柔軟に対応されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	味付けや調理方法を助言してもらう等、可能なレベルで職員と利用者が共同で作業を行い、楽しく会話しながら食事、後片付けが行われています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ユニット毎に時間は違いますが、基本的には週3回の入浴としています。本人の希望や体調を考慮した支援が行われています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活暦や日々の暮らしの中から個人の有する力を把握して、食事の準備や畑仕事等、役割を持って楽しく生活できるような支援が行われています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者は隣家を訪問する感覚でユニット間の往来を楽しみに実行されています。日光浴や外気浴を行う等、短時間でも戸外に出る機会を作る工夫がされており、地域のイベントに出かけて外食の機会を設けている他、家族との外出にも支援されています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	全職員が鍵をかけないケアを理解し、日中は鍵をかけずに見守りされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回避難訓練を実施し、ミーティングの際には避難場所の確認もされています。災害発生時の対応マニュアルを整備して、昼、夜間のシミュレーション訓練も行い、利用者、全職員で取り組まれています。地域の消防団や近隣住民の理解を得て協力体制が採られています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	きざみ食やお粥等体調や習慣に合わせた個別対応がされています。食事量や水分摂取量を毎回記録に残して状況を把握し、健康維持に努めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は生活感や季節感を採り入れた工夫がされており家庭的なスペースとなっています。毎日の室温、湿度を記録し、換気にも配慮されています。大きな窓からは敷地内の草木に季節の移ろいを感じながら過ごせる造りとなっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や愛用品が持ち込まれ、居心地良く過ごせるように配慮されています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。